



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場会社名 マーチャント・バンカーズ株式会社  
コード番号 3121 URL <http://www.mbkworld.co.jp>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦勇 和也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼財務経理部長 (氏名) 宮毛 忠相

TEL 03-3502-4910

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,743	△17.1	△235	—	△289	—	△333	—
23年3月期第2四半期	2,101	△30.4	△37	—	△75	—	△28	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △378百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △64百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	△14.99	—
23年3月期第2四半期	△1.28	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年3月期第2四半期	4,896	3,148	63.7	140.55
23年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 3,120百万円 23年3月期 一百万円

(注) 当社は非連結会社であったため、前期末時点の連結貸借対照表を作成していません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円銭	
23年3月期	—	0.00	—	4.00	円銭	4.00
24年3月期	—	0.00	—	—	円銭	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.00	円銭	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	4,333	△46.2	△84	—	△147	—	△207	—	△9.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	22,615,056 株	23年3月期	22,615,056 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	412,830 株	23年3月期	15,973 株
----------	-----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	22,219,982 株	23年3月期2Q	22,599,348 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において、入手可能な情報及び将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値から大幅に変動する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
4. 参考情報 .....	10
四半期損益計算書 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、提出日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間の我が国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるものの、個人消費や企業業績及び生産活動が回復傾向にあり、持ち直しの動きを見せております。先行きにつきましては、円高の進行や雇用情勢の悪化懸念等の要因があり、景気下振れのリスクが存在しております。

当社の主要な事業領域についてみると、国内のホテル・レジャー市場は、3月以降、自粛ムードや外国人旅行者の減少などにより、大きな落ち込みがあったものの、徐々に回復傾向がみられております。国内外の金融・不動産市場は、為替相場やヨーロッパ地域の経済・金融情勢の不確実性から、先行きが不透明な状況にあります。また、中国経済については、不動産価格や物価の動向に留意する必要があるものの、景気は内需を中心に引き続き拡大が続くと見込まれております。

このような経済状況のもとで、当第2四半期連結累計期間の当社グループは、新たに100%子会社として取得した旭工業株式会社（東京都青梅市）の経営基盤の構築、新規投資案件の発掘、並びに一時大きく落ち込んだ店舗業績の立て直しなどに注力してまいりました。

この旭工業株式会社は、全自動連続殺菌冷却装置「ネットスチーマー」などを主力製品とし、長年にわたり大手加工食品会社等に納入実績を有する地場の優良製造企業です。当社は、「食」をテーマとした取り組みの一環として、平成23年8月17日付で同社全株式を取得し旧経営者より事業を承継いたしました。今後、当社グループの経営資源を最大限に活用し、国内外の営業基盤、信用力、経営管理機能を強化することにより、同社事業の成長を図ってまいります。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、投資回収の停滞や各店舗の来客の落ち込みが避けられず、売上高1,743百万円（前年同期比17.1%減）となりました。

営業利益及び経常利益については、企業投資及び不動産投資の回収活動が振るわず、また営業収入の落ち込みの影響により、営業損失235百万円（前年同期は営業損失37百万円）、経常損失289百万円（前年同期は経常損失75百万円）となりました。

さらに、特別利益として新株予約権戻入益13百万円、特別損失として店舗撤退に伴う事業整理損43百万円などがあり、四半期純損失333百万円（前年同期は四半期純損失28百万円）となりました。

報告セグメントごとの業績は、次の通りであります。（注）1. 2.

#### (マーチャント・バンキング事業)

当社グループは、当事業部門におきまして、主に日本及び中国の企業及び不動産向けの投資事業、並びにアドバイザー事業を営んでおります。

当第2四半期連結累計期間は、不動産賃貸による収益24百万円があったほか、目立った投資回収益などがなく、売上高107百万円（前年同期は424百万円）、セグメント利益4百万円（前年同期は100百万円）となりました。

なお、かねてより取り組んでおります太陽光発電関連事業につきましては、近い将来の法整備を見据え、引き続き事業化のための調査活動にあたっております。テストプラントとして建設を予定している30KW規模の太陽光発電施設につきましては、当局はじめ関係者等との調整に当初の見込みより時間を要しておりましたが、業務提携先である Sinosol AG社（ドイツ）の協力のもと、11月に着工し平成24年1月頃に発電を開始する予定であります。

#### (オペレーション事業)

当社グループは、当事業部門におきまして、ビジネスホテル等の宿泊施設の運営、ボウリング場の運営、飲食事業及び公営施設の運営受託などを行っております。

当第2四半期連結累計期間は、震災による影響のほか、「大分アリストンホテル」（大分県大分市）ほか3月以降開業した計5店舗が、開業関係費用や販促費等の経費負担などにより黒字化に至っていないことなどから、当事業部門の業績は低迷し、売上高1,635百万円（前年同期は1,678百万円）、セグメント損失125百万円（前年同期はセグメント利益52百万円）となりました。

また、事業所の選択と集中の観点から、「AMPLEX坂東」（茨城県坂東市、アミューズメント施設）、「観光旅館水月花」（福井県若狭町、旅館）及び「Breeze of Bay 京都四条河原町丸井店」（京都府京都市、レストラン）の計3店舗については、いずれも本年10月から12月にかけて、他の事業者へ運営を引き継ぎ、当社は事業撤退することとなりました。

#### (マニュファクチュアリング事業)

当社グループは、当第2四半期末より、旭工業株式会社（東京都青梅市）を新たに連結子会社としたことに伴い、工業機械製造を主とするマニュファクチュアリング事業を、新たな報告セグメントとして定めることといたしました。

なお、当該報告セグメントの業績は、当期第3四半期連結会計期間より発生する見込みです。

- (注) 1. マニュファクチュアリング事業の追加につきましては、後記「3. 四半期連結財務諸表 (4) セグメント情報等」に記載の通りです。  
2. 報告セグメントごとの業績は、内部取引控除前の金額を表示しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当社は、当第2四半期末より連結会社となったため、以下の内容につきましては、当第2四半期末の連結貸借対照表と、前事業年度末の個別貸借対照表を比較して記載しております。

当第2四半期末の総資産は、現金及び預金の減少854百万円、預け金の減少187百万円、有形固定資産の増加256百万円、のれんの増加146百万円等により、前期末比401百万円減の4,896百万円となりました。なお、保有目的の変更により、販売用信託不動産71百万円を、固定資産から流動資産に振替えております。

負債は、新規連結による支払手形及び買掛金の増加113百万円等により、前期末比137百万円増の1,747百万円となりました。

純資産は、四半期純損失333百万円を計上したほか、配当による剰余金の減少90百万円、自己株式の取得による減少60百万円等により、前期末比538百万円減の3,148百万円となり、自己資本比率は63.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月4日付当社「連結会社化に伴う連結業績予想の公表並びに個別業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

(会計処理基準に関する事項)

a たな卸資産の評価方法

新たに連結の範囲に含めた旭工業株式会社のたな卸資産（主に製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品）については、総平均法による原価法（貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定）を採用しております。

b 退職給付引当金

新たに連結の範囲に含めた旭工業株式会社は、従業員の退職給付制度を定めており、これに伴い、当該退職給付に備えるため、期末要支給額を退職給付債務として計上しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間  
 (平成23年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,216,125
受取手形及び売掛金	113,038
営業投資有価証券	602,394
商品及び製品	57,744
仕掛品	61,190
原材料及び貯蔵品	48,021
預け金	189,773
その他	159,715
貸倒引当金	△1,310
流動資産合計	2,446,693
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	807,676
土地	1,035,058
その他(純額)	92,271
減損損失累計額	△179,339
有形固定資産合計	1,755,666
無形固定資産	
のれん	146,077
その他	12,457
無形固定資産合計	158,535
投資その他の資産	
投資有価証券	76,304
敷金及び保証金	268,776
その他	196,026
貸倒引当金	△5,950
投資その他の資産合計	535,156
固定資産合計	2,449,359
資産合計	4,896,052

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間  
(平成23年9月30日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	215,768
1年内返済予定の長期借入金	14,300
未払費用	183,879
未払法人税等	18,037
その他	302,042
流動負債合計	734,028
固定負債	
社債	600,000
長期借入金	93,300
長期預り敷金保証金	203,589
退職給付引当金	59,258
その他	57,593
固定負債合計	1,013,741
負債合計	1,747,770
純資産の部	
株主資本	
資本金	2,765,732
資本剰余金	20,849
利益剰余金	601,292
自己株式	△83,255
株主資本合計	3,304,620
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△184,000
その他の包括利益累計額合計	△184,000
新株予約権	27,662
純資産合計	3,148,281
負債純資産合計	4,896,052

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	2,101,875	1,743,242
売上原価	781,936	637,159
売上総利益	1,319,939	1,106,082
販売費及び一般管理費	1,357,081	1,341,471
営業損失(△)	△37,141	△235,388
営業外収益		
受取利息	1,340	1,241
未払配当金除斥益	1,171	234
その他	3,090	3,159
営業外収益合計	5,602	4,635
営業外費用		
支払利息	34,011	1,293
社債利息	7,264	7,264
為替差損	229	49,340
その他	2,359	694
営業外費用合計	43,864	58,592
経常損失(△)	△75,403	△289,345
特別利益		
新株予約権戻入益	22,760	13,670
過年度固定資産税還付金	13,148	—
その他	15,034	1,938
特別利益合計	50,943	15,609
特別損失		
事業整理損	—	43,815
固定資産除却損	2,774	—
関係会社株式評価損	1,773	—
その他	0	—
特別損失合計	4,548	43,815
税金等調整前四半期純損失(△)	△29,009	△317,551
法人税、住民税及び事業税	2,506	15,374
法人税等調整額	156	105
法人税等合計	2,662	15,479
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△31,671	△333,030
少数株主損失(△)	△2,716	—
四半期純損失(△)	△28,955	△333,030

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△31,671	△333,030
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,601	△45,080
為替換算調整勘定	△2,226	—
その他の包括利益合計	△32,827	△45,080
四半期包括利益	△64,499	△378,110
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△64,509	△378,110
少数株主に係る四半期包括利益	10	—

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計 (千円)	調整額 (注) 1.	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2.
	マーチャント・ バンキング事業	ホスピタリティ& ウェルネス事業			
売上高					
外部顧客への売上高	424,818	1,677,057	2,101,875	—	2,101,875
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	1,220	1,220	△1,220	—
計	424,818	1,678,277	2,103,096	△1,220	2,101,875
セグメント利益又は損 失(△)	100,696	52,908	153,605	△190,746	△37,141

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△190,746千円は、報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計 (千円)	調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	マーチャ ント・バン キング事 業	オペレーシ ョン事業 (注) 3.	マニユファク チュアリン グ事業 (注) 4.			
売上高						
外部顧客への売上高	107,744	1,635,497	—	1,743,242	—	1,743,242
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—	—	—
計	107,744	1,635,497	—	1,743,242	—	1,743,242
セグメント利益又は損 失(△)	4,096	△125,010	—	△120,913	△114,474	△235,388

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△114,474千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 「オペレーション事業」は、前第2四半期連結累計期間における「ホスピタリティ&ウェルネス事業」を名称変更したものであります。

4. マニユファクチュアリング事業は、当該事業を営む新規連結会社のみなし取得日を第2四半期連結会計期間末日としたため売上高及び利益又は損失の金額に関する情報はあります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結会計期間より、旭工業株式会社を新たに連結子会社としたことに伴い、当該連結子会社が営む工業機械の製造及び販売に関する事業を、マニユファクチュアリング事業として、新たに報告セグメントの区分に追加することといたしました。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

マニファクチュアリング事業において、旭工業株式会社の株式取得により、当第2四半期連結累計期間に同社の超過収益力によるのれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は146,077千円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 参考情報

当第2四半期累計期間の四半期損益計算書(個別)の内容は以下の通りであります。

なお、新たに連結対象となった子会社の当社連結損益に与える影響は、第3四半期以降に発生する見込みであるため、当第2四半期累計期間の連結及び個別の損益計算書の内容は一致しております。

##### 四半期損益計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	1,743,242
売上原価	637,159
売上総利益	1,106,082
販売費及び一般管理費	1,341,471
営業損失(△)	△235,388
営業外収益	
受取利息	1,241
未払配当金除斥益	234
その他	3,159
営業外収益合計	4,635
営業外費用	
支払利息	1,293
社債利息	7,264
為替差損	49,340
その他	694
営業外費用合計	58,592
経常損失(△)	△289,345
特別利益	
新株予約権戻入益	13,670
その他	1,938
特別利益合計	15,609
特別損失	
事業整理損	43,815
特別損失合計	43,815
税引前四半期純損失(△)	△317,551
法人税、住民税及び事業税	15,374
法人税等調整額	105
法人税等合計	15,479
四半期純損失(△)	△333,030